

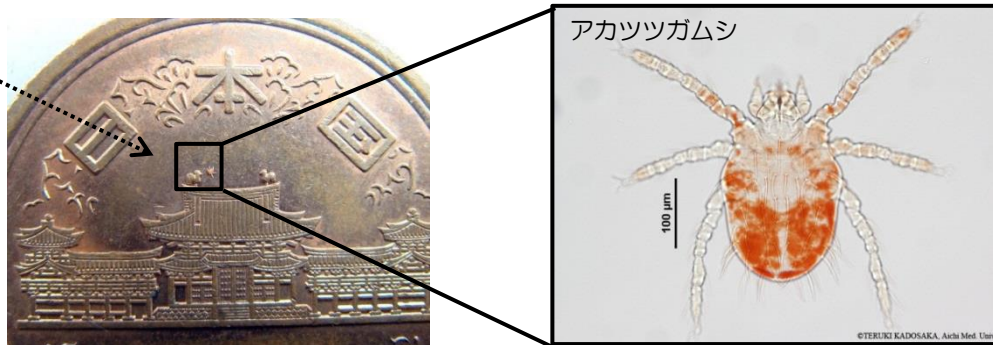
つつが虫病にご注意を！

■つつが虫病とは？

病原微生物を保有するツツガムシ※（ダニの一種）の幼虫に刺された後、**1～2週間後に発症する感染症**です。ツツガムシは非常に小さく肉眼ではほとんど見えません。衣類の隙間から入り込んで皮膚を刺しますが、刺された時の痛みはほとんどないと言われています。なお、人から人へは感染しません。

※つつが虫病の原因となる微生物を保有するツツガムシは0.1～1%程度と考えられています。

この中にツツガムシ
がいます。
(写真は10円硬貨
上にツツガムシを
置いたもの)



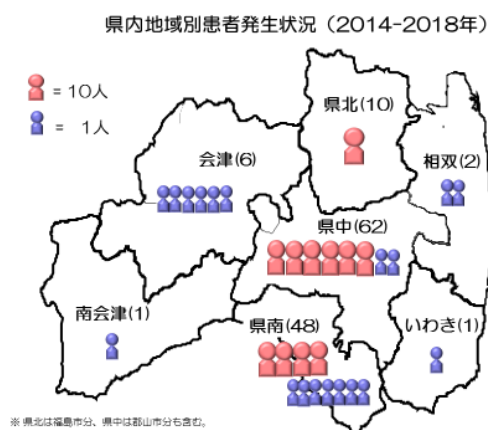
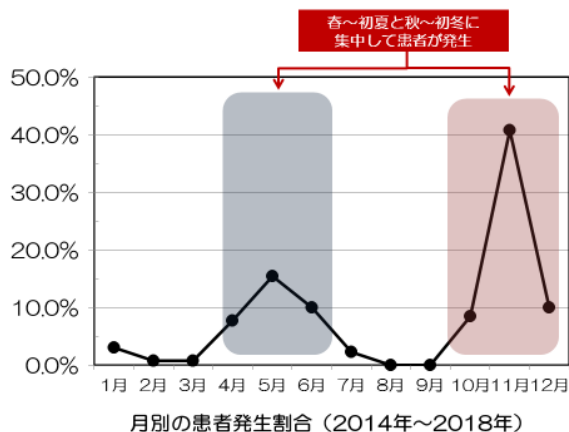
(愛知医科大学 角坂照貴講師より)

■どのような症状？

主な症状として「発熱」、「発疹」、「刺し口」、「頭痛」、「倦怠感」、「肝機能障害」などがあります。治療が遅れると命に関わることもあるため、**出来るだけ早く医療機関を受診しましょう。**

■福島県では？

福島県は**全国有数のつつが虫病の多発地域**で、毎年30名前後の患者が発生しています。春～初夏（4～6月）と秋～初冬（10～12月）に患者発生ピークがあり、県内の様々な地域で患者が報告されています。



■予防方法は？

- (1) 一部の**虫よけスプレー**（ディートを含有する医薬品）に一定の効果が認められていますが、持続時間が限られるため小まめにスプレーしましょう
- (2) 山や草むらでの野外作業中はできるだけ肌の露出を避け、帰宅後は速やかに**入浴、着替え**をし、皮膚に付着したダニを洗い落としましょう